

2024年度水俣フォーラム 事業計画

総会開催時点では下記の事業を計画している。特に力を注ぐのは、近畿では 18 年ぶり、京都では初の水俣展となる京都展である。1 万 5 千人以上の来場者を目標に、すでに協賛依頼やサポーター会議を開始し準備を進めている。水俣展来場者からのニーズが高かった「水俣展全図録」は京都展までに刊行することで、多部数の販売を見込んでいる。東京では 5 年ぶりの通常開催となった 4 月の水俣病記念講演会はほぼ満席となつたことから、多くの人が求めている活動であると再認識することができた。懸案となっている 2026 年の東京展会場は、今年度の早い時期に必ず決定しなければならないものと考えている。

1. 水俣展

- ①京都展 2024 年 12 月 7 日～22 日 (16 日間)、みやこめっせ、想定入場者 15,000 人
- ②東京展 2026 年の会場を確定
- ③その他 他の開催候補都市の調査・働きかけ

2. 講演会開催 (いずれもオンラインを併用)

- ①記念講演会 第 20 回の開催
(4 月 29 日、東京・有楽町マリオングローブホール、747 人、うち来場 597 人)
第 21 回の開催準備 (2025 年 4 月 26 日、くまもと森都心プラザ、489 席)
- ②水俣セミナー 2 回開催、新宿常円寺 (80 席)、アテネ・フランス文化センター (130 席)

3. 機関誌発行

- ①水俣フォーラム NEWS 1 回発行、3 月、3 ～ 4 千部

4. 自主制作

- ①水俣展全図録の編集・印刷、11 月、5 ～ 8 千部
- ②展示物の一部新作

5. インターネットによる発信

- ①各種 SNS での発信 (催し案内、「水俣コラム」再開の検討)

6. その他の事業

- ①水俣病読書会 (冬期、第 8 回)
- ②水俣への旅の催行 (3 月、第 17 回、15 ～ 25 人)

③水俣病ライブラリーの恒常的整理（書籍、映像、写真、音声）

7. 水俣病関連書籍の出版編集協力

①石牟礼道子エッセー集

8. 総会・理事会・運営委員会

①総会 6月、全会員（決算、予算、監事選任）

②理事会・運営委員会（理事会1～2回、合同運営委員会6～8回程度）

9. 事務所機能向上のための取り組み

①事務所の書棚とファイル棚の整備

②倉庫の整理と不要制作物・資料の廃棄 秋期

10. 助成、補助金等

①環境再生保全機構地球環境基金助成金

2025～27年度新規助成応募、水俣病公式確認70年事業として 11月

②新規助成・補助金等申請の検討

熊本県水俣病関連情報発信支援事業、地球倫理推進賞など